

1 長野県版レッドリスト(動物編 無脊椎動物)2015 カテゴリー新規追加種

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリー追加理由等
4	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus orientalis</i>	-	EX	2012年に古い標本記録が公表され、県内で50年以上生息がないことが確認されたため
7	カメムシ目	ツノカメムシ科	キオビツノカメムシ	<i>Cyphostethus japonicus</i>	-	CR+EN	県内の生息地は局所的で、近年その生息地で激減しているため
10	コウチュウ目	オサムシ科	チビアオゴミムシ	<i>Eochlaenius suvorovi</i>	-	CR+EN	県内記録は1例のみで、生息環境である湿地環境の悪化が見られるため
13	コウチュウ目	コガネムシ科	ヒメキイロマグソコガネ	<i>Aphodius inouei</i>	-	CR+EN	県内の生息地が開発により消失し、最近40年の記録がないため
14	コウチュウ目	コガネムシ科	クロモンマグソコガネ	<i>Aphodius variabilis</i>	-	CR+EN	県内の生息地が開発により消失し、最近40年の記録がないため
19	コウチュウ目	タマムシ科	ヤクシマクリタマムシ(本州亜種)	<i>Toxoscelus yakushimensis hatayamai</i>	-	CR+EN	生息地が局所的で個体数も少ないため
20	コウチュウ目	ナガクチキムシ科	ヨツボシホソナガクチキ	<i>Dircaea shibatai</i>	-	CR+EN	生息地が特殊かつ狭小で個体数が極めて少ないため
31	コウチュウ目	ハムシ科	キリガミネハムシ	<i>Chrysolina kirigaminensis</i>	-	CR+EN	生息地が特殊かつ狭小で個体数が極めて少ないため
34	トビケラ目	ヒメトビケラ科	ホソヒメトビケラ	<i>Oxyethira angustella</i>	-	CR+EN	県内で局所的な生息地が確認されたため
36	チョウ目	ヤガ科	ハイマダラクチバ	<i>Autophila inconspicua inconspicua</i>	-	CR+EN	県内の市町村で採集された標本が残されているが、近年は記録がないため。旧称イチモジカラスヨトウ。
10	ハサミムシ目	クロハサミムシ科	クロハサミムシ	<i>Nesogaster lewisi</i>	-	VU	生息地が局所的であるため
12	カメムシ目	カスミカメムシ科	タカネアオカスミカメ	<i>Mermitelocerus viridis</i>	-	VU	高山帯のみに生息する長野県固有種で、個体数が少ないため
13	カメムシ目	チビカメムシ科	シナノチビカメムシ	<i>Parapiesma josifovi</i>	-	VU	既知の生息地は長野県のみと思われ、非常に局所的であるため
14	カメムシ目	サンガメ科	ハリサンガメ	<i>Acanthaspis cincticrus</i>	-	VU	県内の生息分布は一定程度確認されているが、近年減少し、局所的になっているため
15	カメムシ目	サンガメ科	ゴミアシナガサンガメ	<i>Myiophanes tipulina</i>	-	VU	県内の生息分布は一定程度確認されているが、近年減少し、局所的になっているため
16	アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	オオフトヒゲクサカゲロウ	<i>Italochrysa nigrovenosa</i>	-	VU	生息地が極限され継続的な個体数の減少がみられるため
18	コウチュウ目	オサムシ科	タカネメクラチビゴミムシ	<i>Kurasawatrechus brevicornis</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
19	コウチュウ目	オサムシ科	カマナシメクラチビゴミムシ	<i>Kurasawatrechus kawaguchii</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
20	コウチュウ目	オサムシ科	ニュウガサメクラチビゴミムシ	<i>Kurasawatrechus longulus</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
21	コウチュウ目	オサムシ科	アリスアトキリゴミムシ	<i>Lachnoderma asperum</i>	-	VU	開発により最近20年の記録がないため
22	コウチュウ目	オサムシ科	イグチケブカゴミムシ	<i>Peronomerus auripilis</i>	-	VU	生息環境(湿地)が減少し、最近20年記録がないため
23	コウチュウ目	オサムシ科	シラホネオオズナガゴミムシ	<i>Pterostichus shikatai</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
42	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
43	コウチュウ目	ミズスマシ科	コミズスマシ	<i>Gyrinus curtus</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
44	コウチュウ目	ミズスマシ科	ヒメミズスマシ	<i>Gyrinus gestroi</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
46	コウチュウ目	ミズスマシ科	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
47	コウチュウ目	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Halipilus sharpi</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
49	コウチュウ目	ハネカクシ科	ミスズノナガエハネカクシ	<i>Ochtheophilum shinanense</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
51	コウチュウ目	クワガタムシ科	マグソクワガタ	<i>Nicagus japonicus</i>	-	VU	生息環境(砂地)の減少のため
52	コウチュウ目	コブスジコガネ科	マルコブスジコガネ	<i>Trox mitis fujiokai</i>	-	VU	開発による生息環境(水鳥の繁殖地)の減少のため
54	コウチュウ目	コガネムシ科	セマルオオマグソコガネ	<i>Aphodius brachysomus</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
55	コウチュウ目	コガネムシ科	ツヤケシマグソコガネ	<i>Aphodius gotoi</i>	-	VU	寄主ダイコクコガネの激減により最近の記録が少ないため
56	コウチュウ目	コガネムシ科	ヤマトエンマコガネ	<i>Onthophagus japonicus</i>	-	VU	生息環境(砂地)の減少のため
57	コウチュウ目	コガネムシ科	マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i>	-	VU	生息地の市街化により最近40年の記録がないため
58	コウチュウ目	コガネムシ科	フチグロチャイロコガネ	<i>Sericania marginata</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
66	コウチュウ目	マルトゲムシ科	キヌゲマルトゲムシ	<i>Cytilus sericeus</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
67	コウチュウ目	タマムシ科	クロコモシタマムシ(東日本亜種)	<i>Poecilota variolosa chinensis</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
70	コウチュウ目	コメツキムシ科	オンタケシモフリコメツキ	<i>Actenicerus toyoshimai</i>	-	VU	産地が固有狭小で個体数も少ないため
71	コウチュウ目	コメツキムシ科	アズサチビコメツキ	<i>Adzusa inexpecta</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
72	コウチュウ目	コメツキムシ科	タカネクロコメツキ	<i>Ampedus yutakai</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
73	コウチュウ目	コメツキムシ科	オンタケダンドラコメツキ	<i>Diacanthous ontakeanus</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
74	コウチュウ目	コメツクムシ科	ホウオウコメツク	<i>Houwau alpicola</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
75	コウチュウ目	コメツクムシ科	ヤツクシヒゲヒラタコメツク	<i>Orithales serraticornis yatsuensis</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
78	コウチュウ目	ジョウカイボン科	シロクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus albus</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
79	コウチュウ目	ジョウカイボン科	アズサクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus azusa</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
80	コウチュウ目	ジョウカイボン科	オイケクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus oikensis</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
81	コウチュウ目	ジョウカイボン科	ツガイケクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus tsugaikensis</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
82	コウチュウ目	ジョウカイボン科	ウツギクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus utsugidakensis</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
84	コウチュウ目	コクヌスト科	カバイロコクヌスト	<i>Peltis ferruginea</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
87	コウチュウ目	カッコウムシ科	ミツモンモモトカッコウムシ	<i>Iwawakia trimaculata</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
88	コウチュウ目	カッコウムシ科	クロツヤホソカッコウムシ	<i>Tillus arsenjevi</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
89	コウチュウ目	オオキノコムシ科	シリグロオオキノコ	<i>Dactylotritoma atricapilla</i>	-	VU	分布は一定程度あるが不連続で局所的であるため
90	コウチュウ目	キノコムシシダマシ科	ゴマダラキノコムシシダマシ	<i>Tetratoma ainu</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
92	コウチュウ目	ナガクチキムシ科	ヤサガタナガクチキ	<i>Melandrya parallela</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
94	コウチュウ目	ナガクチキムシ科	タカネクロナガクチキ	<i>Phryganophilus pseudoauritus</i>	-	VU	生息地が局所的で個体数も少ないため
100	コウチュウ目	ゴミムシシダマシ科	シナノオオマルムネゴミムシシダマシ	<i>Nipponohelops ishikawai</i>	-	VU	生息環境(里山)が減少し、局所的で個体数も少ないため
116	コウチュウ目	ハムシ科	ツヤネクイハムシ	<i>Donacia nitidior</i>	-	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
123	コウチュウ目	ゾウムシ科	フタバアアナキゾウムシ	<i>Hylobius futabae</i>	-	VU	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
126	シリアゲムシ目	シリアゲモドキ科	スカシシリアゲモドキ(短翅型)	<i>Panorpodes paradoxus</i>	-	VU	生息地が極限され、地域集団ごとの遺伝的分化が大きい
128	チョウ目	スカシバガ科	ミスジコスカシバ	<i>Scalarignathia montis</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
138	チョウ目	シャクガ科	ソトオビエダシャク	<i>Isturgia arenacearia</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
139	チョウ目	シャクガ科	フタスジギンエダシャク	<i>Megaspilates mundataria</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
141	チョウ目	ヤガ科	クビグロケンモン	<i>Acronicta digna</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
142	チョウ目	ヤガ科	ウスジグロケンモン	<i>Acronicta lutea</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
145	チョウ目	ヤガ科	ギンモンセダカモクメ	<i>Cucullia jankowskii</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
146	チョウ目	ヤガ科	ミスズコヤガ	<i>Paraphyllophila confusa</i>	-	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
2	ガロアムシ目	ガロアムシ科	オオガロアムシ	<i>Galloisiana kiyosawai</i>	N	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
5	トンボ目	サナエトンボ科	モイワサナエ	<i>Davidius moiwanus moiwanus</i>	-	NT	調査等が進み少数の生息地が確認されたため
11	トンボ目	エゾトンボ科	ホソミモリトンボ	<i>Somatochlora arctica</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
13	カワゲラ目	ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	<i>Yoraperla uenoi</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
14	ナナフシ目	ナナフシ科	ニホントビナナフシ	<i>Micadina phluctaenoides</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
15	ナナフシ目	ナナフシ科	シラキトビナナフシ	<i>Micadina</i> sp.	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
16	ハサミムシ目	クギヌキハサミムシ科	クギヌキハサミムシ	<i>Forficula tomis scudderii</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
19	カメムシ目	コオイムシ科	オオコオイムシ	<i>Appasus major</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
20	カメムシ目	ミズカメムシ科	ミズカメムシ	<i>Mesovelgia vittigera</i>	-	NT	県内で少数の生息が確認されたため
21	カメムシ目	クヌギカメムシ科	ヨツモンカメムシ	<i>Urochela quadrinotata</i>	-	NT	県内で少数の生息が確認されたため
22	カメムシ目	カメムシ科	ナカボシカメムシ	<i>Menida musiva</i>	-	NT	県内で少数の生息が確認されたため
23	カメムシ目	カメムシ科	ヒメカメムシ	<i>Rubiconia intermedia</i>	-	NT	県内で少数の生息が確認されたため
24	カメムシ目	ツノカメムシ科	フトハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma crassicaudum</i>	-	NT	県内で少数の生息が確認されたため
31	コウチュウ目	オサムシ科	オサムシモドキ	<i>Craspedonotus tibialis</i>	-	NT	生息環境(砂地)の減少のため
32	コウチュウ目	オサムシ科	カタアカアトキリゴミムシ	<i>Cymindis collaris</i>	-	NT	開発による生息地・個体数の減少のため
33	コウチュウ目	オサムシ科	ダイミョウアトキリゴミムシ	<i>Cymindis daimio</i>	-	NT	開発による生息地・個体数の減少のため
36	コウチュウ目	オサムシ科	クロズジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia cruxminor</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
37	コウチュウ目	オサムシ科	コクロナガオサムシ(妙高連峰亜種)	<i>Leptocarabus arboreus babai</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
39	コウチュウ目	オサムシ科	アオオサムシ(木曽亜種)	<i>Ohomopterus insulicola kiso</i>	-	NT	市街化による生息地・個体数の減少しているため
41	コウチュウ目	オサムシ科	エナサンナガゴミムシ	<i>Pterostichus enasanus</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
42	コウチュウ目	オサムシ科	ニセシンシュウナガゴミムシ	<i>Pterostichus himifuriho</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
43	コウチュウ目	オサムシ科	コシンシュウナガゴミムシ	<i>Pterostichus ikukoae</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
50	コウチュウ目	オサムシ科	ナガヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites terricola pacificus</i>	-	NT	生息環境(砂地)が減少し、最近20年記録がないため
66	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	コウベツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus kobensis</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
67	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ケンゲンゴロウ	<i>Hyphydrus japonicus</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
68	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	オオヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus erraticus</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
69	コウチュウ目	ミズスマシ科	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
70	コウチュウ目	ミズスマシ科	オナガミズスマシ	<i>Orectochilus regimbarti regimbarti</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
71	コウチュウ目	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	<i>Haliplus japonicus</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
72	コウチュウ目	コガシラミズムシ科	ヒメコガシラミズムシ	<i>Haliplus ovalis</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
76	コウチュウ目	シデムシ科	ヒメヒラタシデムシ	<i>Thanatophilus sinuatus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
86	コウチュウ目	クワガタムシ科	チチブコルリクワガタ	<i>Platycerus albisomni chichibuensis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
89	コウチュウ目	クワガタムシ科	トウカイコルリクワガタ	<i>Platycerus takakuwai takakuwai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
90	コウチュウ目	コブスジコガネ科	コブナシコブスジコガネ	<i>Trox nohirai</i>	-	NT	開発による生息環境(フクロウの営巣)の減少のため
94	コウチュウ目	コガネムシ科	タカネニセマキバマグソコガネ	<i>Aphodius shibatai</i>	-	NT	生息環境が高山帯に限られ、個体数も少ないため
95	コウチュウ目	コガネムシ科	ニッコウマグソコガネ	<i>Aphodius tanakai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
96	コウチュウ目	コガネムシ科	ヒメカンショコガネ	<i>Apogonia amida</i>	-	NT	開発による生息環境(草原)の減少のため
102	コウチュウ目	タマムシ科	フチトリヒメヒラタタマムシ	<i>Anthaxia rubromarginata</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
103	コウチュウ目	タマムシ科	ミヤマナカボソタマムシ	<i>Coraeus daisenensis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
104	コウチュウ目	タマムシ科	サビナカボソタマムシ	<i>Coraeus ishiharai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
105	コウチュウ目	タマムシ科	ツヤナガタマムシ	<i>Agrilus cupes</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
106	コウチュウ目	タマムシ科	トオヤマシラホシナガタマムシ	<i>Agrilus ventricosus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
107	コウチュウ目	タマムシ科	アオナガタマムシ	<i>Agrilus planipennis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
108	コウチュウ目	タマムシ科	シナノキチビタマムシ	<i>Trachys auriflua</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
109	コウチュウ目	タマムシ科	ズミチビタマムシ	<i>Trachys toringoi</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
112	コウチュウ目	ホソクシヒゲムシ科	ムネアカクシヒゲムシ	<i>Horatocera niponica</i>	-	NT	開発による生息環境(原生林)の減少のため
113	コウチュウ目	コメツクムシ科	クロアシプトコメツク	<i>Akitsu mus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
114	コウチュウ目	コメツクムシ科	ミヤマタテスジコメツク	<i>Ampedus gracilipes</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
115	コウチュウ目	コメツクムシ科	ミヤマホソチャバネコメツク	<i>Ampedus tokugoensis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
116	コウチュウ目	コメツクムシ科	ツガルアカコメツク	<i>Ampedus tsugaru</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
117	コウチュウ目	コメツクムシ科	ダンダラコメツク	<i>Diacanthous undosus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
118	コウチュウ目	コメツクムシ科	オオクロナガコメツク	<i>Elater niponensis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
119	コウチュウ目	コメツクムシ科	キムネスジコメツク	<i>Harminius nikkoensis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
121	コウチュウ目	コメツクムシ科	ミヤタケヒメツヤヒラタコメツク	<i>Hypoganus miyatakei</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
123	コウチュウ目	コメツクムシ科	カタモンカネコメツク	<i>Limoniscus rufovittatus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
125	コウチュウ目	コメツクムシ科	クロホソキコメツク	<i>Procraterus cariniceps</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
126	コウチュウ目	コメツクムシ科	ババムナヒロコメツク	<i>Sadoganus babai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
127	コウチュウ目	ホタル科	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	N	NT	人為的な移動による自然個体群の消滅や遺伝子攪乱が見られるため
128	コウチュウ目	ホタル科	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
130	コウチュウ目	ジョウカイボン科	ダイモンクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus daimon</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
131	コウチュウ目	ジョウカイボン科	ヒワダクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus hiwadanus</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
132	コウチュウ目	ジョウカイボン科	キシクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus kishii</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
133	コウチュウ目	ジョウカイボン科	カミオカクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus longilaterophyses longilaterophyses</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
134	コウチュウ目	ジョウカイボン科	マサトクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus masatoi</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
135	コウチュウ目	ジョウカイボン科	ネノハラクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus nenoharanus</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
136	コウチュウ目	ジョウカイボン科	トビラジョウカイ	<i>Lycocerus tobiranus</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
139	コウチュウ目	ジョウカイモドキ科	ナガサキアオジョウカイモドキ	<i>Cordylepherus xantholoma</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
143	コウチュウ目	オオキノコムシ科	ルリバナネチビオオキノコ	<i>Triplax fukudai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
144	コウチュウ目	オオキノコムシ科	キスジチビオオキノコ(八ヶ岳・南アルプス亜種)	<i>Triplax nakanei yatsuensis</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
146	コウチュウ目	テントウムシ科	アイヌテントウ	<i>Coccinella ainu</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
155	コウチュウ目	ナガクチキムシ科	オオツツホソナガクチキ	<i>Xylita laevigata</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
159	コウチュウ目	キカワムシ科	オオキカワムシ	<i>Pytho nivalis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
162	コウチュウ目	アリモドキ科	タカネヘリハネムシ	<i>Ischalia takane</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
163	コウチュウ目	アリモドキ科	キスジヘリハネムシ	<i>Ischalia luteolineata</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
164	コウチュウ目	ツチハンミョウ科	マルクビツチハンミョウ	<i>Meloe corvinus</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
166	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	ツメアカマルチビゴミムシダマシ	<i>Caedius fulviiatilis</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
168	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	ミヤマゴコミゾゴミムシダマシ	<i>Usechus sasajii</i>	-	NT	生息地が特殊かつ狭小で個体数が少ないため
170	コウチュウ目	カミキリムシ科	トホシハナカミキリ	<i>Brachyta danilevskyi</i>	-	NT	生息環境が高山帯に限られ、個体の減少傾向が著しいため
171	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヒラヤマコブハナカミキリ	<i>Enoploeres bicolor</i>	-	NT	生息環境(大木の洞)が減少しているため
172	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヒメヨツズジハナカミキリ	<i>Leptura kusamai kusamai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
173	コウチュウ目	カミキリムシ科	キベリカタビロハナカミキリ	<i>Pachyta erebia</i>	-	NT	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
174	コウチュウ目	カミキリムシ科	トガリバホソコバナカミキリ	<i>Necydalis formosana niimurai</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
175	コウチュウ目	カミキリムシ科	クロツヤヒゲナガコバナカミキリ	<i>Glaphyra hattorii</i>	-	NT	生息地が局所的で個体数も少ないため
176	コウチュウ目	カミキリムシ科	クロヒラタカミキリ	<i>Ropalopus signaticollis</i>	-	NT	生息環境(里山)が減少し、局所的で個体数も少ないため
177	コウチュウ目	カミキリムシ科	コトラカミキリ	<i>Plagionotus pulcher</i>	-	NT	生息環境(里山)の悪化により減少傾向が著しいため
178	コウチュウ目	カミキリムシ科	トラフカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis chinensis</i>	-	NT	生息環境(桑畑)の消失により減少傾向が著しいため
179	コウチュウ目	カミキリムシ科	キジマトラカミキリ	<i>Xylotrechus zebratus</i>	-	NT	生息環境(里山)の悪化により減少傾向が著しいため
180	コウチュウ目	カミキリムシ科	ホンデアカガネカミキリ	<i>Plectrura metallica yoshihiroii</i>	-	NT	生息環境が亜高山帯に限られ、局所的で個体数も少ないため
181	コウチュウ目	カミキリムシ科	エゾトゲムネカミキリ	<i>Oplosia suvorovi</i>	-	NT	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
193	コウチュウ目	ハムシ科	ガガブタネクイハムシ	<i>Donacia lenzi</i>	-	NT	開発による生息環境(池沼)の減少のため
197	コウチュウ目	ミツギリゾウムシ科	ムツモンミツギリゾウムシ	<i>Pseudorychodes insignis</i>	-	NT	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
198	コウチュウ目	ゾウムシ科	クロツツクイゾウムシ	<i>Magdalis galloisi</i>	-	NT	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
201	ハチ目	コマユバチ科	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
202	ハチ目	アリ科	ツノアカヤマアリ	<i>Formica fukaii</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
203	ハチ目	アリ科	エゾアカヤマアリ	<i>Formica yessensis</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
204	ハチ目	アリ科	ミヤマアメイロケアリ	<i>Lasius hikosanus</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
205	ハチ目	アリ科	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
206	ハチ目	クモバチ科	アケボノクモバチ(アケボノベッコウ)	<i>Anoplius eous</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
207	ハチ目	アナバチ科	フジジガバチ	<i>Ammophila atripes japonica</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
208	ハチ目	ギングチバチ科	ニトベギングチ	<i>Spadicocrabro nitobei</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
209	ハチ目	ミツバチ科	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
217	チョウ目	セセリチョウ科	ヘリグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus sylvaticus sylvaticus</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
219	チョウ目	アゲハチョウ科	ヒメギフチョウ	<i>Luehdorfia puziloi inexpecta</i>	N	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
230	チョウ目	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome laodice japonic</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
231	チョウ目	タテハチョウ科	ヒョウモンチョウ	<i>Brenthis daphne rabdia</i>	N	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
236	チョウ目	カレハガ科	ヒロバカレハ	<i>Gastropacha quercifolia cerridifolia</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
238	チョウ目	スズメガ科	ヒメスズメ	<i>Deilephila askoldensis</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
239	チョウ目	スズメガ科	スキバホウジャク	<i>Hemaris radians</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
240	チョウ目	シャチホコガ科	クワヤマエグリシャチホコ	<i>Ptilodon kuwayamae</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
241	チョウ目	ドクガ科	ウスジロドクガ	<i>Calliteara virginea</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
242	チョウ目	ヒトリガ科	ゴマベニシタヒトリ	<i>Rhyparia purpurata gerda</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
243	チョウ目	コブガ科	ヒラノコブガ	<i>Nola hiranoi</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
246	チョウ目	シャチホコガ科	ギンボシシャチホコ	<i>Rosama cinnamomea</i>	-	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
1	カゲロウ目	ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	<i>Dipteromimus tipuliformis</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
3	トンボ目	イトトンボ科	アオモンイトトンボ	<i>Ischnura senegalensis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
4	トンボ目	トンボ科	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
6	アザミウマ目	アザミウマ科	ハネナシアザミウマ	<i>Apterothrips secticornis</i>	-	DD	県内の高山に局所的に生息するものの、生息状況の知見が乏しいため
7	アザミウマ目	アザミウマ科	ミヤマユリアザミウマ	<i>Ctenothrips nonnae</i>	-	DD	県内の高山に局所的に生息するものの、生息状況の知見が乏しいため
8	アザミウマ目	アザミウマ科	カワラマツバアザミウマ	<i>Rubiothrips galii</i>	-	DD	県内での寄主植物の分布は広いものの、生息状況の知見が乏しいため
9	アザミウマ目	クダアザミウマ科	ミズナラオオアザミウマ	<i>Bactrothrips montanus</i>	-	DD	生息分布が局所的と考えられ、生息状況の知見が乏しいため
10	カメムシ目	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ	<i>Losbanosia hibarensis</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
11	カメムシ目	ゲンバイウンカ科	ヒシウンカモドキ	<i>Cixiopsis punctata</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
12	カメムシ目	カスミカメムシ科	カタグロミドリカスミカメ	<i>Cyrtorhynchus caricis</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
13	カメムシ目	マキバサシガメ科	ベニモンマキバサシガメ	<i>Gorpsis japonicus</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
14	カメムシ目	アブラムシ科	オニグルミクチナガオオアブラムシ	<i>Stomaphis matsumotoi</i>	-	DD	県内で複数の生息地が確認されたが個体数が少ないため(長野県固有 1988年発見の新種)
15	アミメカゲロウ目	センブリ科	フタオセンブリ	<i>Sialis bifida</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
16	アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	オオウスバカゲロウ	<i>Heoclisia japonica</i>	-	DD	県内での記録があるものの、生息状況の知見が乏しいため
17	トビケラ目	エグリトビケラ科	クロモンエグリトビケラ	<i>Hydatophylax nigrovittatus</i>	-	DD	極めて局所的な分布のため
19	コウチュウ目	オサムシ科	ツヤキベリアオゴムシ	<i>Chlaenius spoliatus motschulskyi</i>	-	DD	近年の生息情報がないため
22	コウチュウ目	ガムシ科	シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>	-	DD	50年以上が記録なく、またその記録に誤同定の可能性があるため
23	コウチュウ目	コガネムシ科	オオフタホシマグソコガネ	<i>Aphodius elegans</i>	-	DD	近年の生息情報がないため
24	コウチュウ目	コガネムシ科	カバイロアシナガコガネ	<i>Ectinohoplia rufipes</i>	-	DD	近年の生息情報がないため
25	コウチュウ目	コガネムシ科	オオダイセマダラコガネ	<i>Exomala ohdaiensis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
26	コウチュウ目	コガネムシ科	タケムラスジコガネ	<i>Mimela takemurai</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
27	コウチュウ目	コガネムシ科	クリイロコガネ	<i>Miridiba castanea</i>	-	DD	近年の生息情報がないため
28	コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	マスダチビヒラタドロムシ	<i>Psephenoides japonicus</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
29	コウチュウ目	タマムシ科	スジチビタマムシ	<i>Habroloma amurense</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
30	コウチュウ目	タマムシ科	アオマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis amabilis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
31	コウチュウ目	タマムシ科	クサビチビタマムシ	<i>Trachys cuneiferus</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
33	コウチュウ目	コメツクムシ科	クニシモフリコメツク	<i>Actenicerus kunimi</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
34	コウチュウ目	コメツクムシ科	クロアメイロコメツク	<i>Kometsukia resticornis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
35	コウチュウ目	コメツクムシ科	ヒメクロナガコメツク	<i>Parallelostethus georgelewisi</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
38	コウチュウ目	カミキリムシ科	フトキクスイモドキカミキリ	<i>Asaperda silvicultrix</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリー追加理由等
41	コウチュウ目	カミキリムシ科	トラフホソバナネカミキリ	<i>Thranus variegatus variegatus</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
43	コウチュウ目	ハムシ科	ヨツボシアカツツハムシ	<i>Coptocephala orientalis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないため
44	コウチュウ目	ハムシ科	キスジツツハムシ	<i>Cryptocephalus limbatipennis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないため
45	コウチュウ目	ハムシ科	スジグロオオハムシ	<i>Galeruca spectabilis</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
47	コウチュウ目	ヒゲナガゾウムシ科	オオマダラヒゲナガゾウムシ	<i>Sympaector rugirostris</i>	-	DD	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
48	コウチュウ目	オトシブミ科	サメハダハマキチョッキリ	<i>Byctiscus rugosus</i>	-	DD	生息環境(里山)の悪化により減少傾向が著しいため
49	コウチュウ目	ミツギリゾウムシ科	クロツツホソミツギリゾウムシ	<i>Callipareius kojimai</i>	-	DD	生息環境(原生林)が減少し、局所的で個体数も少ないため
51	コウチュウ目	ゾウムシ科	ヌタツカゾウムシ	<i>Trichalophus nutakkanus</i>	-	DD	生息環境が高山帯に限られ、個体数も少ないため
52	ハチ目	セイボウ科	オオセイボウ(本土亜種)	<i>Stilbum cyanurum pacificum</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
53	ハチ目	アリ科	ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
54	ハチ目	アリ科	タカネクロヤマアリ	<i>Formica gagatoides</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
55	ハチ目	アリ科	テラニシクサアリ(テラニシケアリ)	<i>Lasius teranishii</i>	-	DD	生息地が局所的で個体数も少ないと予測されるが判断できる知見が十分でないため
56	ハチ目	アリ科	クロキクシケアリ	<i>Myrmica kurokii</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
57	ハチ目	クモバチ科	フタモンクモバチ	<i>Parabatozonus jankowskii</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
58	ハチ目	スズメバチ科	キオビホオナガスズメバチ(本州亜種)	<i>Dolichovespula media sugare</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
61	ハチ目	ドロバチモドキ科	ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
62	ハチ目	ハキリバチ科	クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
63	ハチ目	ハキリバチ科	マイマイツツハナバチ	<i>Osmia orientalis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
65	ハチ目	ハキリバチ科	フルカワフトハキリバチ	<i>Megachile lagopoda</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
66	ハチ目	ミツバチ科	ナミルリモンハナバチ(ルリモンハナバチ)	<i>Thyreus decorus</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できるだけの情報が不足しているため
70	ハエ目	ツリアブ科	ハクバツリアブ	<i>Bombylius pygmaeus</i>	-	DD	県内で局所的な生息地が確認されたため
71	チョウ目	マダラガ科	ルリハダホソクロバ	<i>Rhagades pruni esmeralda</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
73	チョウ目	ジャクガ科	トビスジヤエナミジャク	<i>Philereme transversata japanaria</i>	N	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
75	チョウ目	スズメガ科	メンガタスズメ	<i>Acherontia styx medusa</i>	N	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
76	チョウ目	ドクガ科	スゲドクガ	<i>Laelia coenosa sangaica</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
77	チョウ目	ヒトリガ科	シロホソバ	<i>Eilema degenerella</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
78	チョウ目	ヒトリガ科	ヤネホソバ	<i>Eilema fuscodorsalis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
80	チョウ目	コブガ科	ミカボコブガ	<i>Meganola mikabo</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
81	チョウ目	ヤガ科	ジョウザンケンモン	<i>Acronicta jozana</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
82	チョウ目	ヤガ科	ヒメキイロヨトウ	<i>Anapamea incerta</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
84	チョウ目	ヤガ科	ムラサキハガタヨトウ	<i>Blepharita amica ussuriensis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため。旧称ナカムラサキハガタヨトウ
85	チョウ目	ヤガ科	キスジウスキヨトウ	<i>Capsula sparganii</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
88	チョウ目	ヤガ科	ミヤマキシタバ	<i>Catocala ella</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
89	チョウ目	ヤガ科	ヒメミカヅキキリガ	<i>Cosmia spurcopyga trapezinula</i>	N	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
90	チョウ目	ヤガ科	クシロツマジロケンモン	<i>Craniophora pacifica</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
91	チョウ目	ヤガ科	トビイロアカガネヨトウ	<i>Euplexia albilineola</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
92	チョウ目	ヤガ科	オオシラホシヤガ	<i>Eurois occulta</i>	N	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
93	チョウ目	ヤガ科	シロオビヨトウ	<i>Hadena compta armeriae</i>	N	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
94	チョウ目	ヤガ科	ニセタバコガ	<i>Heliocheilus fervens</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
95	チョウ目	ヤガ科	キリガミネアツバ	<i>Hypena conspersalis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
96	チョウ目	ヤガ科	キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
98	チョウ目	ヤガ科	オオチャバネヨトウ	<i>Nonagria puengeleri</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
100	チョウ目	ヤガ科	アサマツマキリアツバ	<i>Pangrapta minor</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
101	チョウ目	ヤガ科	ハグルマアツバ	<i>Paracolax angulata</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
102	チョウ目	ヤガ科	ヨモギガ	<i>Schinia scutosa</i>	-	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
2	コウチュウ目	オサムシ科	ミカワオサムシ王滝个体群	<i>Ohomopterus arrowianus</i>	-	LP	生息地が特殊かつ狭小で、開発により生息地・個体数が減少しているため
3	コウチュウ目	オサムシ科	オオクロナガオサムシ天竜川个体群	<i>Leptocarabus kumagaii</i>	-	LP	生息地が特殊かつ狭小で、開発により生息地・個体数が減少しているため
1	トンボ目	イトトンボ科	モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>	-	N	留意種の定義変更のため
2	トンボ目	ヤンマ科	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	-	N	留意種の定義変更のため
4	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	キベリクロヒメゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i>	-	N	留意種の定義変更のため
5	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	キベリマメゲンゴロウ	<i>Platambus fimbriatus</i>	-		
6	コウチュウ目	ガムシ科	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	-	N	留意種の定義変更のため
7	ハチ目	ヒメバチ科	ミズバチ	<i>Agriotypus gracilis</i>	-	N	留意種の定義変更のため
9	チョウ目	ボクトウガ科	ハイイロボクトウ	<i>Phragmataecia castaneae</i>	-	N	留意種の定義変更のため
10	チョウ目	マダラガ科	ヤホシホソマダラ	<i>Balataea octomaculata</i>	-	N	留意種の定義変更のため
16	チョウ目	シャクガ科	クワトゲエダシャク	<i>Apochima excavata</i>	-	N	留意種の定義変更のため
17	チョウ目	ヤマユガ科	オナガミズアオ	<i>Actias gnoma gnoma</i>	-	N	留意種の定義変更のため
18	チョウ目	ヤガ科	ヒメシロシタバ	<i>Catocala nagoides</i>	-	N	留意種の定義変更のため
19	チョウ目	ヤガ科	ウスズミケンモン	<i>Acronicta carbonaria</i>	-	N	留意種の定義変更のため
20	チョウ目	ヤガ科	ホシヒメセダカモクメ	<i>Cucullia fraudatrix</i>	-	N	留意種の定義変更のため
21	チョウ目	ヤガ科	ウスミモンキリガ	<i>Eupsilia contracta</i>	-	N	留意種の定義変更のため
22	チョウ目	ヤガ科	ミスジキリガ	<i>Jodia sericea</i>	-	N	留意種の定義変更のため
3	クモ類	コガネグモ科	マユミオニグモ	<i>Araneus mayumiae</i>	-	CR+EN	県内の生息地は局所的で、近年その生息地で激減しているため
5	クモ類	コガネグモ科	ヤマキレミアミグモ	<i>Parazygiella disper</i>	-	NT	生息状況等の知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
4	貝類	ヒラマキガイ科	ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culmenella parashadi</i>	-	CR+EN	県内で1箇所の生息地が確認されたが個体数が少ないため
13	貝類	カワシンジュガイ科	コガタカワシンジュガイ	<i>Margaritifera togakushiensis</i>	-	CR+EN	県内で1箇所の生息地が確認されたが個体数が少ないため
14	貝類	サナギガイ科	キバサナギガイ	<i>Vertigo hirasei</i>	-	CR+EN	県内で生息地が確認されたが個体数が少ないため
3	貝類	キバサナギガイ科	ナタネキバサナギガイ	<i>Vertigo eogea</i>	-	VU	県内で複数の生息地が確認されたが個体数が少ないため
1	貝類	ヤマタニシ科	ヤマタニシ	<i>Cyclophorus herklotsi</i>	-	NT	県内で複数の生息地が確認されたが個体数が少ないため
3	貝類	タニシ科	オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	-	NT	県内で複数の生息地が確認されたが個体数が少ないため
5	貝類	ヒラマキガイ科	ヒラマキガイモドキ	<i>Polylylis hemisphaerula</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
6	貝類	キセルガイ科	オオギセル	<i>Megalophaedusa martensi</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
7	貝類	キセルガイ科	エンシュウギセル(ホソヤカギセル)	<i>Mundiphaedusa hosayaka</i>	-	NT	県内で複数の生息地が確認されたが個体数が少ないため
9	貝類	ベッコウマイマイ科	トガリキビ	<i>Parakaliella acutanguloides</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
10	貝類	ベッコウマイマイ科	ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
12	貝類	ベッコウマイマイ科	オオタキキビ	<i>Trochochlamys lioconus lioconus</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
13	貝類	ニッポンマイマイ科	ウロコビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis bracteatus</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
14	貝類	ニッポンマイマイ科	ケハダビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis fragilis</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
15	貝類	ニッポンマイマイ科	コシタカコベソマイマイ	<i>Satuma fusca</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
16	貝類	オナジマイマイ科	ヤマタカマイマイ	<i>Satuma papilliformis</i>	-	NT	近年生息が確認されたが個体数が少ないため
1	貝類	ケンガイ科	ケンガイ	<i>Carychum pessinum</i>	-	N	留意種の定義変更のため
2	貝類	ベッコウマイマイ科	スカシベッコウ	<i>Bekkochlamys serenus</i>	-	N	留意種の定義変更のため
3	貝類	ベッコウマイマイ科	タカキビ	<i>Coneuplecta praealta</i>	-	N	留意種の定義変更のため
4	貝類	ベッコウマイマイ科	オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>	-	N	留意種の定義変更のため

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ追加理由等
5	貝類	ベッコウマイマイ科	ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>	-	N	留意種の定義変更のため
6	貝類	ベッコウマイマイ科	ハチジョウヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys circumdata</i>	-	N	留意種の定義変更のため
7	貝類	ベッコウマイマイ科	カントウベッコウ	<i>Bekkochlamys septentrionalis</i>	-	N	留意種の定義変更のため
8	貝類	ベッコウマイマイ科	クリイロベッコウ	<i>Japanochlamys cerasina</i>	-	N	留意種の定義変更のため
9	貝類	ベッコウマイマイ科	カズマキベッコウ	<i>Japanochlamys decens</i>	-	N	留意種の定義変更のため
11	貝類	カワニナ科	タテヒダカワニナ	<i>Semisulcospira decipiens</i>	-	N	留意種の定義変更のため
12	貝類	オオコウラナメグジ科	ヤマコウラナメグジ	<i>Nipponolimax monticola</i>	-	N	留意種の定義変更のため
13	貝類	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis</i>	-	N	留意種の定義変更のため
14	貝類	ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>	-	N	留意種の定義変更のため

2 長野県版レッドリスト(動物編 無脊椎動物)2015 カテゴリー変更種

RL_No	綱名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリー変更理由等
3	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	マダラシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermonectoides</i>	CR+EN	EX	県内で50年以上生息記録がないため
5	バッタ目	バッタ科	アカハネバッタ	<i>Celes skalozubovi akitanus</i>	EX	CR+EN	県内での生息が確認されたため
18	コウチュウ目	タマムシ科	ハビロキンヘリタマムシ	<i>Lamprodila nipponensis</i>	VU	CR+EN	生息地が特殊かつ狭小で個体数の減少傾向が続いているため
27	コウチュウ目	カミキリムシ科	シナノエゾハイロハナカミキリ	<i>Rhagium heyrovskyi hayakawai</i>	VU	CR+EN	生息地が特殊かつ狭小で個体数の減少傾向が続いているため
29	コウチュウ目	カミキリムシ科	タケウチホソハナカミキリ	<i>Strangalia takeuchii</i>	VU	CR+EN	生息地が特殊かつ狭小で個体数の減少傾向が続いているため
33	ハエ目	アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ(オス出現箇所)	<i>Deuterophlebia nipponica</i>	NT	CR+EN	国内のオス出現河川が県内の2箇所に限られているため
37	チョウ目	ヤガ科	ヘリグロヒメトウ	<i>Condica illustrata</i>	N	CR+EN	県内の市町村で採集された標本が残されているが、近年は記録がないため
40	チョウ目	ヤガ科	オイワケクロトウ	<i>Lacanobia aliena amurensis</i>	DD	CR+EN	県内の市町村で採集された標本が残されているが、近年は記録がないため
3	チョウ目	セセリチョウ科	チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus maculatus</i>	EN	CR	県内の生息地で植生遷移等により、個体数が著しく減少しているため
2	トンボ目	サナエトンボ科	メガネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
3	トンボ目	エゾトンボ科	ハネビロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
5	チョウ目	セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
7	チョウ目	シロチョウ科	ツماغロキチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>	CR	EN	確認される個体数が増加しているため
8	チョウ目	シロチョウ科	ヤマキチョウ	<i>Gonepteryx rhamni maxima</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
9	チョウ目	シジミチョウ科	ゴマシジミ(本州中部亜種)	<i>Maculinea teleius kazamoto</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
13	チョウ目	ジャノメチョウ科	クロヒカゲモドキ	<i>Lethe marginalis</i>	VU	EN	個体数が著しく減少しているため
3	トンボ目	サナエトンボ科	アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	CR+EN	VU	確認される個体数が増加しているため
5	トンボ目	サナエトンボ科	オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	NT	VU	生息地が局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
9	バッタ目	イナゴ科	セグロイナゴ	<i>Shirakiacris shirakii</i>	CR+EN	VU	調査等が進み確認される生息地が増加したため
11	カメムシ目	ゼミ科	アカエゾゼミ	<i>Tibicen flammatius</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
45	コウチュウ目	ミズスマシ科	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i>	NT	VU	開発による生息環境(池沼)の減少のため
53	コウチュウ目	アカマダラセンコガネ科	アカマダラセンコガネ	<i>Ochodaeus maculatus</i>	CR+EN	VU	生息情報が増加したため
59	コウチュウ目	コガネムシ科	オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i>	CR+EN	VU	生息地点数と確認個体数が増加しているため
60	コウチュウ目	コガネムシ科	シラホシハナムグリ	<i>Protaetia brevitarsis brevitarsis</i>	CR+EN	VU	生息地点数と確認個体数が増加しているため
62	コウチュウ目	コガネムシ科	シナノエンマコガネ	<i>Onthophagus bivertex</i>	NT	VU	生息環境が減少し個体数の減少が確認されたため
76	コウチュウ目	コメツクムシ科	ムネアカツヤケシコメツク	<i>Megapenthes opacus</i>	DD	VU	生息地が極限され継続的な個体数の減少がみられるため
103	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヒゲブトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i>	NT	VU	生息環境(大木の洞)が減少しているため
107	コウチュウ目	カミキリムシ科	ムモンベニカミキリ	<i>Amarysius sanguinipennis</i>	CR+EN	VU	生息地の追加情報等があったため
117	コウチュウ目	ハムシ科	アオグロモモブトハムシ	<i>Zeugophora hozumii</i>	DD	VU	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、生息記録の減少が見られるため
125	ハチ目	ミツバチ科	ウスリーマルハナバチ	<i>Bombus ussurensis</i>	DD	VU	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
127	ハエ目	アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	<i>Deuterophlebia nipponica</i>	NT	VU	川床の安定化等により、本種にとっての生息環境の悪化が見られるため
131	チョウ目	シロチョウ科	ヒメシロチョウ	<i>Leptidea amurensis</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
132	チョウ目	シジミチョウ科	ミヤマシジミ	<i>Lycaeides argyrognomon praeterinsularis</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
133	チョウ目	シジミチョウ科	アサマシジミ(中部低地帯亜種)	<i>Plebejus subsolanus yaginus</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
134	チョウ目	シジミチョウ科	アサマシジミ(中部高地帯亜種) (ヤリガタケシジミ)	<i>Plebejus subsolanus yarigadakeanus</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
137	チョウ目	タテハチョウ科	コヒョウモンモドキ	<i>Mellicta britomartis nippona</i>	NT	VU	個体数が著しく減少しているため
144	チョウ目	ヤガ科	ヒメカクモンヤガ	<i>Chersotis deplana</i>	DD	VU	生息地がきわめて局所的で、生息環境の悪化が考えられるため
1	カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ	<i>Bleptus fasciatus</i>	DD	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため

RL_No	綱名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ-変更理由等
3	トンボ目	イトトンボ科	オゼイトトンボ	<i>Coenagrion terue</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
4	トンボ目	カワトンボ科	アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
7	トンボ目	ヤンマ科	マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
8	トンボ目	ヤンマ科	サラサヤンマ	<i>Sarasaeschna pryeri</i>	CR+EN	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
9	トンボ目	エゾトンボ科	オオトラフトンボ	<i>Epiheca bimaculata sibirica</i>	CR+EN	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
10	トンボ目	エゾトンボ科	トラフトンボ	<i>Epiheca marginata</i>	CR+EN	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
17	カメムシ目	テングスケバ科	クロテングスケバ	<i>Saigona ishidae</i>	DD	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
26	コウチュウ目	ハンミョウ科	アイヌハンミョウ	<i>Cicindela gemmata aino</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
27	コウチュウ目	ハンミョウ科	コハンミョウ	<i>Myriochile specularis</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
28	コウチュウ目	オサムシ科	ミヤママルガタゴミムシ	<i>Amara asymmetrica</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
30	コウチュウ目	オサムシ科	クロカタビロオサムシ	<i>Calosoma maximowiczi</i>	VU	NT	生息地・年度により個体数が多く確認されているため
34	コウチュウ目	オサムシ科	セアカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculosus</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
35	コウチュウ目	オサムシ科	ヒラノアカヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa minobusana</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
44	コウチュウ目	オサムシ科	アカシナナガゴミムシ	<i>Pterostichus ishizukai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
45	コウチュウ目	オサムシ科	ヤツオオズナガゴミムシ	<i>Pterostichus koheii</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
46	コウチュウ目	オサムシ科	トダイオオナガゴミムシ	<i>Pterostichus kosakai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
51	コウチュウ目	オサムシ科	タカネツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus alpinus</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
52	コウチュウ目	オサムシ科	シガツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus armiger</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
53	コウチュウ目	オサムシ科	ホソツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus furihatai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
54	コウチュウ目	オサムシ科	ハセツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus hasensis</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
55	コウチュウ目	オサムシ科	トビラツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus hayakawai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
58	コウチュウ目	オサムシ科	イマフクツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus imafukui</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
59	コウチュウ目	オサムシ科	リュウトウツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus ishikawai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
60	コウチュウ目	オサムシ科	キツツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus kisonis</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
61	コウチュウ目	オサムシ科	チチブツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus kosakai</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
62	コウチュウ目	オサムシ科	カミコウチツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus silvestris</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
63	コウチュウ目	オサムシ科	ヤツツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus yatsuensis</i>	VU	NT	生息地では個体数が多いため
77	コウチュウ目	シデムシ科	ベッコウヒラタシデムシ	<i>Eusilpha brunneicollis</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
78	コウチュウ目	シデムシ科	ピロウドヒラタシデムシ	<i>Oiceoptoma thoracicum</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
79	コウチュウ目	シデムシ科	オニヒラタシデムシ	<i>Thanatophilus rugosus</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
83	コウチュウ目	ハネカクシ科	ナミクシヒゲハネカクシ	<i>Velleius dilatatus</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、生息環境(雑木林)が減少し希少であることが確認されたため
88	コウチュウ目	クワガタムシ科	ホソツヤルリクワガタ	<i>Platycerus kawadai</i>	VU	NT	生息地情報が増加したため
93	コウチュウ目	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ	<i>Anthracophora rusticola</i>	VU	NT	生息地と個体数が増加しているため
98	コウチュウ目	コガネムシ科	コカブトムシ	<i>Eophileurus chinensis chinensis</i>	VU	NT	生息地と個体数が増加しているため
101	コウチュウ目	コガネムシ科	クロカナブン	<i>Rhomborrhina polita</i>	VU	NT	生息地と個体数が増加しているため
110	コウチュウ目	タマムシ科	タマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>	VU	NT	新たな生息地が確認されたため 名称変更(2004年版RDBではヤマトタマムシとして記載)
111	コウチュウ目	タマムシ科	キンヘリタマムシ	<i>Lamprodila pretiosa bellula</i>	CR+EN	NT	生息地と個体数が増加しているため
120	コウチュウ目	コメツキムシ科	ミヤマヒサゴコメツキ	<i>Homotechnes motschulskyi</i>	DD	NT	生息地が減少傾向にあるため
124	コウチュウ目	コメツキムシ科	クロサワツヤケシコメツキ	<i>Megapenthes kurosawai</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため

RL_No	綱名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリ-変更理由等
140	コウチュウ目	ケシキスイ科	シリグロオオケシキスイ	<i>Psilopyga lewisi</i>	VU	NT	生息地と個体数が増加しているため
142	コウチュウ目	キスイムシ科	ハナバチヤドリキスイ	<i>Antherophagus nigricornis</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
147	コウチュウ目	テントウムシ科	ハラグロオオテントウ	<i>Callicaria superba</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
148	コウチュウ目	テントウムシ科	ココノホシテントウ	<i>Coccinella explanata</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
149	コウチュウ目	テントウムシ科	ダイモンテントウ	<i>Coccinella hasegawai</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
150	コウチュウ目	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tredecimpunctata timberlakei</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
151	コウチュウ目	テントウムシ科	ジュウロクホシテントウ	<i>Sospita oblongoguttata</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
152	コウチュウ目	テントウムシ科	ルイヨウマダラテントウ	<i>Henosepilachna yasutomii</i>	VU	NT	生息地と個体数が多いため
154	コウチュウ目	コキノコムシ科	アシボソコキノコムシ	<i>Mycetophagus obsoletesignatus</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
160	コウチュウ目	アカハネムシ科	オカモトツヤアナハネムシ	<i>Pedilus okamotoi</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
165	コウチュウ目	ツチハンミョウ科	オオツチハンミョウ	<i>Meloe proscarabaeus sapporensis</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
167	コウチュウ目	ゴミムシダマン科	クロホシクチキムシ	<i>Pseudocistela haagi</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
182	コウチュウ目	カミキリムシ科	オニホソコバネカミキリ	<i>Necydalis gigantea gigantea</i>	VU	NT	生息地の追加情報のため
183	コウチュウ目	カミキリムシ科	アカアシオオアカカミキリ	<i>Chloridolum japonicum</i>	VU	NT	生息地の追加情報のため
184	コウチュウ目	カミキリムシ科	ツジヒゲナガコバネカミキリ	<i>Tsujiu itoi</i>	CR+EN	NT	生息地では個体数が多いため
185	コウチュウ目	カミキリムシ科	フタスジゴマフカミキリ	<i>Mesosa cribrata</i>	VU	NT	生息地の追加情報のため
194	コウチュウ目	ハムシ科	カタビロハムシ	<i>Colobaspis japonicus</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
199	コウチュウ目	ゾウムシ科	アダチアナアキゾウムシ	<i>Hylobius adachii</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
200	コウチュウ目	ゾウムシ科	シロウマアナアキゾウムシ	<i>Hylobius shiroumaensis</i>	DD	NT	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、希少であることが確認されたため
216	チョウ目	セセリチョウ科	スジグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
234	チョウ目	ジャノメチョウ科	オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
247	チョウ目	ヤガ科	アサマウスモンヤガ	<i>Xestia descripta</i>	DD	NT	生息地が少なく種の存続への圧迫が強まっているため
20	コウチュウ目	オサムシ科	リュウトウナガゴミムシ	<i>Pterostichus tahirai</i>	VU	DD	分類上の再検討を要するため
21	コウチュウ目	オサムシ科	キソナガゴミムシ	<i>Pterostichus uchiyamai</i>	VU	DD	生息に関する情報が不足しているため
36	コウチュウ目	カミキリムシ科	チャバネクロツツカミキリ	<i>Anaesthetis confossicollis</i>	N	DD	生息に関する情報が不足しているため
37	コウチュウ目	カミキリムシ科	シロヘリトラカミキリ	<i>Anaglyptus colobotheoides</i>	N	DD	生息に関する情報が不足しているため
39	コウチュウ目	カミキリムシ科	クロサフヒメコバネカミキリ	<i>Epania septemtrionalis</i>	N	DD	生息に関する情報が不足しているため
40	コウチュウ目	カミキリムシ科	チャイロチビヒラタカミキリ	<i>Phymatodes infasciatus</i>	N	DD	生息に関する情報が不足しているため
79	チョウ目	ヒトリガ科	ヒメキシタヒトリ	<i>Parasemia plantaginis</i> (P.p.japonica・P.p.macromera)	NT	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
83	チョウ目	ヤガ科	マツバラシラクモトウ	<i>Apamea remissa</i>	NT	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
86	チョウ目	ヤガ科	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	NT	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
87	チョウ目	ヤガ科	ナマリキシタバ	<i>Catocala columbina yoshihikoi</i>	NT	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
99	チョウ目	ヤガ科	クビジロツメトウ	<i>Oncocnemis campicola</i>	NT	DD	県内で生息が確認されているが評価できる情報が不足しているため
4	クモ類	カニグモ科	ヒメハナグモ	<i>Misumena vatia</i>	DD	CR+EN	生息状況等の新たな知見等が蓄積され、極めて希少であることが確認されたため
2	クモ類	コガネグモ科	ノルドマンオニグモ	<i>Araneus nordmanni</i>	DD	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため
4	クモ類	コガネグモ科	ニシキオニグモ	<i>Araneus variegatus</i>	VU	NT	調査等が進み確認される生息地が増加したため

3 長野県版レッドリスト(動物編 無脊椎動物)2015 カテゴリー除外種

目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	理由等
コウチュウ目	クワガタムシ科	ヒラタクワガタ	<i>Dorcus titanus pilifer</i>	CR+EN	除外	確認される生息地が増加しているため
トンボ目	サナエトンボ科	ウチワヤンマ	<i>Ictinogomphus clavatus</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
トンボ目	カワトンボ科	ミヤマカワトンボ	<i>Calopteryx cornelia</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
トンボ目	ヤンマ科	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
トンボ目	ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
トンボ目	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
カメムシ目	ゼミ科	チッチゼミ	<i>Cicadetta radiator</i>	N	除外	生息地では個体数が多いため
カメムシ目	ナベバタムシ科	ナベバタムシ	<i>Aphelocheirus vittatus</i>	N	除外	生息地と個体数が多いため
カメムシ目	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>	N	除外	確認される生息地が増加しているため
コウチュウ目	オサムシ科	コクロナガオサムシ飛騨御嶽木曾亜種	<i>Leptocarabus arboreus gracillimus</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	コクロナガオサムシ赤石山脈亜種	<i>Leptocarabus arboreus horioi</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	コクロナガオサムシ奥秩父亜種	<i>Leptocarabus arboreus ogurai</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	ヤツクロナガオサムシ(コクロナガオサムシ八ヶ岳亜種)	<i>Leptocarabus arboreus shinanensis</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	コクロナガオサムシ北関東上越亜種	<i>Leptocarabus arboreus tenuiformis</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	イナオサムシ(交雑地域個体群)	<i>Ohomopterus pseudoinsulicola (Ina hybrid pop.)</i>	LP	除外	判定基準の変更(雑種を除く)のため
コウチュウ目	オサムシ科	アカイシホソヒメクロオサムシ(ホソヒメクロオサムシ赤石山脈亜種)	<i>Pentacarabus harmandi akaishiensis</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	ホソヒメクロオサムシ(日光・浅間山亜種)	<i>Pentacarabus harmandi harmandi</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	ホソヒメクロオサムシ八ヶ岳亜種	<i>Pentacarabus harmandi karasawai</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	シロウマホソヒメクロオサムシ(ホソヒメクロオサムシ白馬・妙高亜種)	<i>Pentacarabus harmandi mizunumai</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	オクタマホソヒメクロオサムシ(ホソヒメクロオサムシ秩父亜種)	<i>Pentacarabus harmandi okutamaensis</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	ハクサンホソヒメクロオサムシ(ホソヒメクロオサムシ白山・飛騨山脈亜種)	<i>Pentacarabus harmandi quinquecatellatus</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	アカイシハネアカナガゴミムシ	<i>Pterostichus brunneipennis akaishicus</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	ハネアカナガゴミムシ	<i>Pterostichus brunneipennis brunneipennis</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	キソコマナガゴミムシ	<i>Pterostichus napaea</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	アカイシハラトゲナガゴミムシ	<i>Pterostichus spiculifer ishidaei</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	スルガナガゴミムシ	<i>Pterostichus suruganus</i>	NT	除外	生息地では個体数が多いため
コウチュウ目	オサムシ科	オオヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites sulcatus</i>	N	除外	旧・山口村の記録のみであるため
コウチュウ目	ホソクビゴミムシ科	ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>	VU	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	シデムシ科	マエモンシデムシ	<i>Nicrophorus maculifrons</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	シデムシ科	ヒメモンシデムシ	<i>Nicrophorus montivagus</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	センチコガネ科	オオセンチコガネ	<i>Phelotrupes auratus auratus</i>	NT	除外	生息地と個体数が顕著に増加しているため
コウチュウ目	コガネムシ科	ヒダチャイロコガネ	<i>Sericania hidana</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	コガネムシ科	ナラノチャイロコガネ	<i>Proagopertha pubicollis</i>	VU	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	タマムシ科	エサキキンヘリタマムシ	<i>Lamprodila decipiens kamikochiana</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	ジョウカイボン科	キンイロジョウカイ	<i>Themus episcopalis episcopalis</i>	VU	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	オオクスイムシ科	ミドリオオクスイ	<i>Helota cereopunctata</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	アカハネムシ科	ナカブサツチピロウドムシ	<i>Dendroides nakabusana</i>	NT	除外	分類学的知見(ツチイロピロウドムシと同種)による
コウチュウ目	アカハネムシ科	ムネアカクロアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa atripennis</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	カミキリムシ科	ケブカマルクビカミキリ	<i>Atimia okayamensis</i>	NT	除外	生息地と個体数が多いため
コウチュウ目	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i>	DD	除外	生息地と個体数が多いため

ハチ目	スズメバチ科	チャイロスズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>	DD	除外	生息地が多いことが確認されたため
チョウ目	セセリチョウ科	キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus flavus</i>	NT	除外	確認される生息地が増加しているため
チョウ目	シジミチョウ科	クロミドリシジミ	<i>Favonius yuasai</i>	NT	除外	確認される生息地が増加しているため
チョウ目	シジミチョウ科	キリシマミドリシジミ	<i>Thermozephyrus ataxus kirishimaensis</i>	N	除外	明らかな生息地がないため
チョウ目	シジミチョウ科	シルビアシジミ	<i>Zizina otis emelina</i>	N	除外	明らかな生息地がないため
チョウ目	ジャノメチョウ科	ウラナミジャノメ	<i>Ypthima motschulskyi niponica</i>	N	除外	明らかな生息地がないため
チョウ目	シャクガ科	フチグロトゲエダシャク	<i>Nyssiodes lefuarius</i>	DD	除外	確認される生息地が増加しているため
チョウ目	ヤママユガ科	シンジュサン	<i>Samia cynthia pryeri</i>	NT	除外	確認される生息地が増加しているため
チョウ目	ドクガ科	ナチキシタドクガ	<i>Ilema nachiensis</i>	N	除外	確認される生息地が増加しているため

4 長野県版レッドリスト(動物編 無脊椎動物)2015 名称変更種

RL_No	目名	科名	和名	学名	2004年版	2015年版	2004年長野県版レッドデータブックからの変更内容等
26	コウチュウ目	カミキリムシ科	シナノスミイロハナカミキリ	<i>Nivellia extensa yuzawai</i>	CR+EN	<b>CR+EN</b>	シナノスミイロハナカミキリ(スミイロハナカミキリ本州亜種)として記載
28	コウチュウ目	カミキリムシ科	ムネアカメダカカミキリ	<i>Stenhomalus incongruus muneaka</i>	CR+EN	<b>CR+EN</b>	ムネアカメダカカミキリ(日本亜種)として記載
28	コウチュウ目	オサムシ科	ヤツチビマルクビゴミムシ	<i>Nippononebria pusilla yatsuana</i>	VU	<b>VU</b>	ヤツチビマルクビゴミムシ(チビマルクビゴミムシ八ヶ岳・赤石山脈亜種)として記載
36	コウチュウ目	オサムシ科	カシマオオズナガゴミムシ(仮称)	<i>Pterostichus</i> sp. (nr. <i>uedaorum</i> )	VU	<b>VU</b>	ウエダオオズナガゴミムシ( <i>Pterostichus uedaorum</i> )として記載
33	コウチュウ目	オサムシ科	エナオオズナガゴミムシ	<i>Pterostichus todai todai</i>	VU	<b>VU</b>	エナオオズナガゴミムシ(恵那山亜種( <i>Pterostichus todai todai</i> ))として記載
34	コウチュウ目	オサムシ科	キノコマオオズナガゴミムシ (エナオオズナガゴミムシ木曾駒ヶ岳亜種)	<i>Pterostichus todai toyoshimai</i>	VU	<b>VU</b>	キノコマオオズナガゴミムシ(エナオオズナガゴミムシ木曾山脈亜種( <i>Pterostichus todai toyoshimai</i> ))として記載
11	バッタ目	バッタ科	ヒゲナガヒナバッタ	<i>Schmidtiacris schmidti</i>	CR+EN	<b>CR+EN</b>	ヒメヒゲナガヒナバッタとして記載
23	コウチュウ目	タマムシ科	タマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>	VU	<b>NT</b>	新たな生息地が確認されたためランク変更するとともにヤマトタマムシとして記載
39	ハエ目	アミカ科	カニギンモンアミカ	<i>Neohapalothrix kanii</i>	CR+EN	<b>CR+EN</b>	カニアミカとして記載
203	チョウ目	シジミチョウ科	アサマシジミ(中部低地帯亜種)	<i>Plebejus subsolanus yaginus</i>	NT	<b>VU</b>	個体数が著しく減少しているためランク変更するとともに、アサマシジミとして記載
204	チョウ目	シジミチョウ科	アサマシジミ(中部高地帯亜種) (ヤリガタケシジミ)	<i>Plebejus subsolanus yarigadakeanus</i>	NT	<b>VU</b>	個体数が著しく減少しているためランク変更するとともに、アサマシジミとして記載
63	チョウ目	シジミチョウ科	ゴマシジミ(本州中部亜種)	<i>Maculinea teleius kazamoto</i>	VU	<b>EN</b>	個体数が著しく減少しているためランク変更するとともに、ゴマシジミとして記載
101	コウチュウ目	オサムシ科	シワムネオオズナガゴミムシ	<i>Pterostichus miyazawai</i>	VU	<b>VU</b>	ヒメオオズナガゴミムシとして記載
204	チョウ目	シジミチョウ科	ゴマシジミ(八方尾根白山亜種)	<i>Maculinea teleius hosonoi</i>	VU	<b>VU</b>	ゴマシジミとして記載
174	コウチュウ目	カミキリムシ科	ヒゲシロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis odai</i>	VU	<b>VU</b>	ヒゲシロホソコバネカミキリとして記載
188	コウチュウ目	ハムシ科	コウホネネクイハムシ	<i>Donacia ozensis</i>	VU	<b>VU</b>	カワホネネクイハムシとして記載
258	コウチュウ目	オサムシ科	オオシンシュウナガゴミムシ	<i>Pterostichus cristatoides</i>	NT	<b>NT</b>	シンシュウナガゴミムシとして記載
266	コウチュウ目	オサムシ科	マスモトナガゴミムシ	<i>Pterostichus masumotoi</i>	NT	<b>NT</b>	マスモトオオナガゴミムシとして記載
360	コウチュウ目	ジョウカイボン科	マサタカシリプトジョウカイ	<i>Yukikoa masatakai</i>	NT	<b>NT</b>	サトウシリプトジョウカイ(仮称)として記載
186	コウチュウ目	カミキリムシ科	フタスジカタビロハナカミキリ	<i>Brachyta bifasciata japonica</i>	NT	<b>NT</b>	フタスジカタビロハナカミキリ(日本亜種)として記載
196	コウチュウ目	ハムシ科	ヒラタネクイハムシ	<i>Donacia splendens hiurai</i>	NT	<b>NT</b>	ヒラタネクイハムシ(本州亜種)として記載